



第26回徳島県老健大会

徳島が育む共生の渦～思いやりが巡る老健の歩み～

系でんわ

老健大会

【発行】

リハビリセンター
グリーンTAOKA
広報委員会

徳島市川内町
北原31-3
088-678-5555



第323号



2025年10月28日、徳島市内

で第26回徳島県介護老人保健施設大会が盛大に開催されました。今年の大
会テーマは「徳島が育む共生の渦～思
いやりが巡る老健の歩み～」でした。

県内の介護老人保健施設に関わる職員、
医療・福祉関係者、行政担当者などが
一堂に会し、介護の現場で培われた知
見や課題を共有し合う貴重な機会とな
りました。開会式では、主催者から

「地域とともに歩む老健施設の役割を
再確認し、よりよい共生社会の実現を
目指したい」との挨拶があり、参加者
の表情には真剣な思いがにじんでいま
した。特別講演では、地域包括ケアの
第一人者による「共生のためのケア連
携と人材育成」に関する講話が行われ、
現場での実践に活かせるヒントが多数
紹介されました。後半の部では、各施
設による実践報告や研究発表が続き、
認知症ケアの工夫、リハビリテーショ
ンの質向上、家族支援の取り組みなど、
現場の創意工夫が光る内容が並びまし



た。参加者同士の意見交換も活発で、

「他施設の取り組みを知ることが、自
分たちの課題が明確になった」「利用
者と家族の声をもっと反映させたい」
といった前向きな声が聞かれました。

大会を通じて、徳島県内の老健施設が
地域に根ざし、思いやりと連携を軸に
したケアを実践していることが改めて
浮き彫りになりました。共生の渦を広
げるために、今後も施設間の連携と人
材育成の強化が求められることを確認
し、閉会となりました。

今回、当施設からも研究発表を2題
行いましたので、その内容を要約して
掲示いたします。

(事務部 山口 晃史)

①介護テクノロジーが創る介護の未来
～見守りシステム導入による

生産性向上～

施設の新築移転に伴い、介護テクノ
ロジーの導入を本格化しました。ナ
ースコール機能付き見守りカメラとスマ
ートフォンを活用することで、巡回・移
動時間が大幅に短縮され、業務効率と
職員の負担軽減を実現。AIによる動
作検知や映像確認により、事故対応や
家族への説明も正確かつ迅速に行える
ようになりました。感染症対応や夜勤
時の見守りにも効果を発揮し、安心・
安全なケア環境づくりに貢献していま
す。一方で、プライバシー配慮や通信
環境、などの課題もあり、継続的な対
応が必要です。今後も進化と挑戦を続
け、他施設の参考となる発信を目指し
ます。

(介護部 岡崎 悠)

②日本一の老健を目指して

～多職種連携で在宅復帰へ～

リハビリセンターグリーンTAOKA
Aは、平成26年から超強化型を維持
し、在宅復帰支援に力を入れる介護老
人保健施設です。入所形態を分類し、
短期集中リハビリや医療依存度の高い
方への対応を行っています。初回面談
での方針共有や多職種による不安対応
質の高いリハビリの提供により、在宅
復帰率とベッド回転率の向上を目指し
ています。地域病院や居宅介護支援事
業所との連携も強化し、紹介件数の増
加に繋がっています。さらに、地域交流
と介護予防を目的とした「グリーンカ
フェ」を開催し、施設の魅力を発信し
ています。“日本一の老健”を目指し、
利用者・職員・地域がともに幸せにな
れる環境づくりに取り組んでいます。

(支援相談員 前垣 愛子)





入所だより



長く続いた残暑も終わりを告げ、ようやく秋の訪れがやって来たように思えます。

秋と言えば、日本の風物詩となる紅葉ですが、紅葉する木の種類も沢山あり、モミジ、イチョウ、ハゼ等が代表的ですね。その中でもモミジは、紅葉を感じさせてくれる身近な木ではないでしょうか。

徳島県には紅葉の名所も多くあり、例えば剣山、眉山、高の瀬峡、祖谷峽など、様々な紅葉の名所があり、訪れる人々を楽しませてくれます。例年通りなら10月下旬から11月中旬に見頃を迎えるそうです。

当施設でも、名所の紅葉に比べると

見劣りするかもしれませんが、ご利用者様に季節を感じてもらいたいと思い、施設内にモミジを飾らせて頂きました。ご利用者様からも、「秋らしくて良いですね」「本物のモミジみたい」等のお声を頂きました。

これから寒い寒い冬が訪れますが、皆様も病気にならないよう、身体に気を付けてお過ごしください。

(介護部 川田賢志)



通所だより

青色に白絵の具をちりばめたような高い空、やわらかな陽射しをより一層暖かく感じる朝夕の冷え込みに、晩秋の訪れを感じさせる季節になりました。

秋と言えば食欲の秋、そんな季節に恋しくなるのはおやつレクですが、通所リハビリでも、ご利用者様がおやつレクで「たこ焼き」を作りました。

生地作りに、「私、やろうか?」と率先して協力してくれたのは女性陣、

さすがの手捌きで、たこの代用品であるはんぺんやちくわをキッチンバスミで細かくカット、ボールに卵を割り、水や小麦粉と一緒に混ぜ合わせるとあっという間にタネが完成しました。

その様子に感化されたのか、男性陣も「俺もやろうか?」と参加してください、みんなでたこ焼きを作る事になりました。

気がつくご利用者様みんなで、和気あいあいの雰囲気になり、楽しく、美味しく、大盛況のおやつレクとなりました。これからも参加型のみんなで楽しめるレクリエーションを考えていきたいと思っています。

(通所リハビリ 白石美砂子)



グリーンカフェ

今月は、10月16日にグリーンカフェを開催しました。

今回のテーマは「福祉用具を体験してみよう!」で、株式会社トーカイ様に協力を依頼し、福祉用具専門相談員の眞矢岬太郎氏に説明していただきました。様々な種類の杖や歩行器、置き型の手すりやポータブルトイレ等があり、参加者の皆さまも福祉用具を体験したり、知る事が出来、「勉強になった」と喜ばれていました。

講義の後には、デザートとして豆腐餅を食べて頂きましたが、きな粉のかかった豆腐餅は、豆腐で作ったとは思えないくらいに、もちもちとした食感でとても美味しく、参加者の皆さまにも満足して頂けた様でした。

(支援相談員 松原亜希)



看護だより

朝晩の冷え込みが増し、空気の乾燥が気になる季節になりましたね。

乾燥は肌のかゆみや喉の不快感を引き起こすだけではなく、風邪や感染症にもつながります。こまめな水分補給や手洗い・うがいをを行い、室内は加湿を心がける事が大切です。

また、朝晩の冷え込みが強まり、体調を崩しやすい季節になると、手足の冷えや寒さによる血圧の変動には十分注意が必要になります。

血圧の変動を少なくする為に、起き上がる前に布団の中で軽く体を動かし、起床後に温かい飲み物で体を温めるのも効果的です。

この様に、一人ひとりの小さな心がけや、小さな工夫により体をいたわる事が、寒い時期を元気に過ごす為には大切になります。当施設でも換気や環境整備に努め、皆さまが安心して健康的に過ごせるよう支援しています。

(看護部 矢野早苗)



【施設の予定】

- 1 2月3日 (水) 通所・散髪会
- 1 2月4日 (木) 入所・散髪会
- 1 2月18日 (木) グリーンカフェ
- 1 2月22日 (月) マジックショー

